

## 【司書】

### ◎主な配属先、業務内容

#### ■出先機関

#### 福井県立図書館



- 県民の資料情報センターとして、資料・情報の収集・保存・提供
- 市町立図書館支援や読書推進活動

#### 若狭図書館学習センター

- 県民一人一人の生涯学習の充実を図るため、図書館機能と生涯学習センター機能を備えた複合施設
- 県民の皆様が、図書や資料を有効に活用し、学習・表現・交流する場、そのために必要な学習情報を提供



## 【司書】令和2年度採用



## 若狭図書学習センター

### 清水 篤司

(筑波大学 情報学群知識情報・図書館学類 卒業)



#### 【主な担当業務】

- ・カウンター業務(本の貸出、返却)、レファレンス業務
- ・本の特集や企画の展示(一般向け)
- ・寄贈資料および賠償資料の受付、登録

### ◎ある一日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	16:00	17:15
業務開始、本の返却・消毒・配架	開館、カウンター業務	昼休み	電話対応、カウンターバックアップ	寄贈資料の受け入れ、本の特集の企画	閉館、業務終了



### ◎福井県職員を志望した理由

福井県立図書館は人口比で入館者数や貸出冊数が全国トップクラスであり、県民一人当たりの社会教育費も高い水準にあるということを知り、せっかくなら福井県のような優れた図書館環境が整備されている県で働いてみたいと思い、福井県職員を選択しました。

### ◎仕事をはじめて感じていること

福井県外から採用されたということもあり、郷土に関する問い合わせには苦勞することが多いです。最初のころは、福井の地名も満足に読めない有様でしたが、段々と福井のことがわかるようになってきました。福井のことに限らず、利用者の方の「知りたい」という要求に応えることは、簡単なことではありませんが、図書館の重要な役割でもあるので、どんどん経験を積んでいけたらと思います。

また、本の特集の企画を担当していますが、時節に合わせたものだけでなく、他機関のイベントや、生涯学習部門(若狭図書学習センターの1Fは生涯学習フロアで、講座などを開催)と連携して特集を組むこともあります。色々な特集を通じて、利用者の皆さんの学びをさらに豊かにしていけたらと思います。

### ◎魅力・やりがい

利用者からの問い合わせに応え、満足して下さったときなどは、司書としてお役に立てた嬉しさがあります。本の特集についても、利用者の方がコーナーで立ち止まり、本を手にとってくれた時は“してやったり”と感じます。図書館の業務は幅広く、覚えることもたくさんありますが、研修も充実しており、先輩の司書の方からもたくさんアドバイスをもらうことができます。司書の採用枠は少なく、募集のない年もありますが、本が好き、図書館が好きという方はぜひ積極的にチャレンジしてほしいと思います。

### ◎採用試験対策

1次試験で教養試験と司書の専門試験があります。教養試験の対策としては、書店で売られている公務員試験対策問題集、専門試験対策としては、福井県の職員採用情報のwebページで公開されていた過去問を見て、出題されそうな部分を重点的に勉強しました。2次試験は、私は福井県外出身なので、まずは福井県の強みや抱えている問題点を確認し、新聞などで時事問題にも注目して、福井県の状況と絡めて考えられるようにしました。

### ◎後輩たちへ一言

試験の本番では緊張することもあると思いますが、ぜひ落ち着いて取り組んでいただければと思います。応援しています！

## 【司書】令和2年度採用



## 若狭図書学習センター

### 橋本 育海

(佛敎大学 文学部日本文学科 卒業)



#### 【主な担当業務】

- ・ 広報（広報誌「若狭路」・ツイッターの作成）
- ・ 逐次刊行物（雑誌や新聞）の管理
- ・ 図書館の体験学習や見学受入業務



### ◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 開館準備	9:00 開館	10:00 カウンター業務 (貸出・返却、レ ファレンスなど)	12:00 昼休み	13:00 広報誌の編集、 雑誌の受入業務	17:15 閉館、 業務終了
-----------------------	------------	--	--------------	-----------------------------	----------------------

### ◎福井県職員を志望した理由

昨今司書は募集そのものがありません。私は、**全国の公務員試験の中から司書の募集がある地域を探し、その中から福井県の県職員募集を選択しました。**選んだ理由としては、**出身の滋賀から近いことや、福井県が図書館に力を入れていたこと、採用人数など**があります。来県歴はなく不安はありましたが、**司書希望という時点で厳しい道を歩んでいる自覚はあったので、思い切って挑戦**をしました。

### ◎仕事をはじめて感じていること

何事にも言えると思いますが、**経験を積むことが重要**です。レファレンスのやり方や資料の調べ方、これまで勉強してきたことも、実際に行うことは大変難しいものでした。郷土資料のレファレンス（質問や調査依頼）に至っては尋ねてこられたお客さんのほうがよくご存じということもよくあります。歯がゆい気持ちになることもありますが、**スムーズにお客さんの疑問が解決できた時は大変達成感があります。**

### ◎魅力・やりがい

私自身、**図書館という場所が好き**なので、毎日のように来てくださるお客さんのことも、初めて図書館に来たという方も、行ったことはないけど図書館には興味があるという方も、みんな自分の仲間だと思っています。**一人でも多くの方に図書館が「良い場所だ」と思ってもらえるのならとても嬉しいです。**

### ◎採用試験対策

**一次試験では教養試験と専門試験の二つの対策が必要**でした。教養試験は公務員試験のテキストが数多くあったので、その中から一つを選んでひたすら繰り返して解法のパターンや時事問題の習熟に努めました。個人的な実感としてですが、いろいろなテキストを満遍なくやるよりも一つか二つに絞ったほうが良い試験結果につながると思います。専門試験は図書館情報学の試験です。テキストは種類が少ないので自ずとそれを繰り返して解くことになると思います。それに加えて、**福井県にまつわる文学や作家などは頭に入れておく**と役立ちます。**過去問も県のサイトで公開されているので活用してください。**

### ◎後輩たちへ一言

私は滋賀県から福井県に引っ越してきて、一人暮らしをしています。福井県に何があるのか初めは全く知りませんでした。観光地として栄えているだけに、**グルメやレジャー、文化施設なども豊富**にあることを知りました。**一人で過ごすにも良い場所なので県外の方にも就職先として大変オススメ**です。

司書の募集が限られている現状ではありますが、**募集があれば挑戦してみる価値は十分にあります！**県内の方も県外の方も**是非福井県職員試験に挑戦してみてください！**そして、県外の方は福井県にお越しの際は**グルメや図書館、博物館などの文化施設なども一緒に楽しんでからお帰りになることを強くお勧め**します。